

みんなで守ろう岐阜市の自然

岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第9号 平成18年1月発行

はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



大洞地区硯石池の保全活動にむけて（1月13日開催）

- ・硯石池のかつての姿と現状の確認および今後の保全活動に必要な活動について
- ・今後保全活動を進めるために必要な事項の検討

硯石池のかつての姿と現状の確認 および今後の保全活動に必要な活動について

大洞地区硯石池周辺の湿地環境を、今後どのような形で保全・復元するのかを検討するために、保全活動の実施に向けたワークショップを実施しました。話し合いには、市民団体メンバー、自治会関係者、土地所有者ならびにアドバイザーとして自然観察指導員の成瀬亮司さんらと共に意見交換を行ないました。



現在の大洞・硯石池の様子

まず、硯石池周辺の現在と昔の状況について確認したところ、かつては**サギソウの群生地として地元でも知られていた**ことが分かりました。その他にも、かつては多種多様な希少動植物が見られたが、現在ではマニアによる盗掘や水田・雑木林の放置によりその数が著しく減少し、この状態が続けばいずれは絶滅してしまうとの考えが土地所有者を含む出席者の多くから示されました。



ホトケドジョウ



ヒメタイコウチ



ミズギボウシ



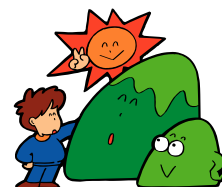
サギソウ



ハルリンドウ



そこで、今後このような状況を改善していくためには、どのような対策が必要であるか、自然観察指導員の成瀬さんから説明を頂きました。



湿地を保全するために必要な活動

1. 水田跡地に侵入してきている樹木を伐採し、現在残されている湿地が樹林化しないように処理を行う。
2. 畦をはじめとした水田周辺の草刈りを行い、日当たりを好む植物の生育環境を整えるとともに外来植物の侵入を防ぐ。
3. 休耕している水田への水の引き込みを行い、湿地環境を創り出す。

特に保全活動が必要な箇所としては、現在稲作が行われている水田の奥に位置する休耕地が挙げられました。この場所は樹林化が進み、湿地の乾燥化が見られます。

今後保全活動を進めるために必要な事項の検討

そこで、このような状況に対応し保全活動を推進するために、どのような点に留意して実施することが必要であるか話し合ったところ、次のような点に留意して参加者を募集し、保全活動の準備ならびに実施をする必要があることが確認されました。

1. 保全活動に参加する人は、興味を持ってもらえる地元の方を中心に構成する方が良いと考えられる。地元以外の人では貴重な動植物の盗掘を目的に関わる人もいる可能性があるため、地元で温かく見守っていく環境をつくる必要がある。
2. 保全活動は、大勢の力が必要な作業もあるが、いきなりたくさんのメンバーで始めなくても、口コミで徐々に参加者を増やしていくことにより体制を固めていけば良い。
3. 地域に愛される硯石池をつくる上で、将来的にはこの保全活動を小・中学校とも連携して実施できるように情報発信をしていきたい。
4. 今回の保全活動に対しては、土地所有者、大洞区の皆さん、自治会の皆さんといった地元関係者に十分に理解をいただき、情報を共有しながら進めていく。

また、来年度以降、地元の皆さんに対して説明を行うための保全活動計画についても今後検討を進めていくことが確認されました。

おわりに

こうして硯石池の自然環境保全に向けた第一歩が踏み出されました。更に1月24日(火)には、地元皆さんに硯石池の事を知っていただくための観察会ならびに保全活動の体験会を開催しました。その模様については次号にてお知らせします。

岐阜市の自然を守るためには、皆様の協力が不可欠です。今後とも宜しくお願いします。

自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html

